

2018年8月14日

各位

株式会社 ニトリホールディングス

「銀鱗荘」事業承継についてのご案内

この度、株式会社ニトリ（札幌市北区、代表取締役社長兼 COO 白井俊之）では、株式会社銀鱗荘および東名観光開発株式会社より「銀鱗荘」の所有権を取得し、2018年8月20日をもって、当社100%出資子会社の株式会社ニトリパブリックが運営することとなりました。小樽のシンボリック施設であり、宿泊施設としては第一級の本施設において超一流のサービスを提供し、道内外および海外からも観光客を招き入れることで、小樽エリアの振興に貢献してまいります。

- 名 称 : 銀鱗荘
- 場 所 : 小樽市桜1丁目1番地13号
- 承 継 日 : 2018年8月20日（月） 12:00～
- 運営の主体 : 旧運営会社 株式会社銀鱗荘
新運営会社 株式会社ニトリパブリック
- 概 要 :
 - ・部屋数 / 本館・新館を合わせて全18室
(※お部屋毎に造りや眺望が異なります)
 - ・お食事 / 和食会席と本格フランス料理をご提供
 - ・最寄り駅 / JR小樽築港駅から車で4分
JR小樽駅から車で10分



※ リリースに関するお問い合わせ先

(株)ニトリパブリック (担当: 西川)

Tel: 011-717-5044 Fax: 011-717-5023

mail: nishikawa@np-inc.jp



銀鱗荘

GINRINSOU



北海道文化財百選に選ばれた 日本でただひとつの泊まれる鯨御殿。

石狩湾に囲まれた海拔 60m の地、平磯岬の高台に立つと、果てしなく広がる青い海と空、そして眼下には小樽港と小樽中心街の全景が一望のもとに見渡せます。

銀鱗荘は、積丹半島のつけ根に栄えたニシンの千石漁場・余市に、明治時代の初めに大網元の屋敷として建造された漁場建築の代表といえるもので、小樽屈指の景勝地平磯岬への移築を機に、昭和 14 年に料亭旅館として創業、時の北海道長官石黒英彦氏により銀鱗荘と命名されました。その豪壮にして優美なたたずまいは、世紀を越える風雨を堪え忍んで重厚さを増し、北海道文化財百選のひとつにも数えられ

ています。昭和 61 年以降には全館にわたって大規模な改修をおこない、伝来の外観や調度品のたぐいは極力原型保持につとめながら、最新設備を充実させ、よりいっそうの快適性・機能性を追求しました。また、それと同時に良質の温泉のボーリングにも成功し、日本海を見下ろす裏庭に、雅趣豊かな露天の岩風呂を新設、「平磯温泉」の名で名実ともに小樽の新しい観光施設として再出発いたしました。現在では、国内外問わず多くのお客様にご宿泊いただいております。